

## 平成 28 年度第 5 回評価委員会 事前説明でいただいたご意見等

### 松田副委員長（産業医科大学医学部公衆衛生学教室 教授）

- 第 3 期中期計画に関する意見は特にない。
- 公立病院については、今後、今以上に公共性・公益性を求められる。市民病院の今後のあり方を検討していく中で、病院の柱となる医療については、公共性・公益性があり、市民の理解が得られるものである必要がある。
- 運営費負担金繰入の根拠となる不採算医療の定義が難しい。運営費負担金に見合うものか、さらに検討の必要がある。

### 花岡委員（福岡県看護協会 会長）

- 第 3 期中期計画に関する意見は特にない。
- NICU での長期療養を余儀なくされるような小児の在宅医療については、重度の医療的ケアが必要である。家庭に必要な医療・福祉サービスが提供され、安心して療養できるよう、福祉や教育等との連携によって、地域全体で支える仕組みが必要であり、是非こども病院にはその中核として取り組んでいただきたい。
- ワーク・ライフ・バランスの実現のためには、上司の意識改革が重要になる。年休やリフレッシュ休暇等が取りやすい職場環境づくりを進めていただきたい。併せて、時間外勤務の縮減にもしっかりと取り組んでいただきたい。
- 人事評価制度は、職員のモチベーションの維持・向上のためだけではなく、人材育成にも繋がる。目標管理を行い、その達成度が適正に評価される人事評価制度の構築に取り組んでいただきたい。